

(県協働部署用) 協働事業評価・報告書

事業名	かながわ乳がん検診向上モデル構築事業
県協働部署名	がん・疾病対策課
団体名	一般社団法人乳がん予防医学推進協会
事業期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

1 個別事業ごとの実施結果

事業1	かながわ乳がん検診向上モデル構築事業
(1) 実績・成果に対する評価 ※実績や成果についてどのように考えているかを記入してください。	<p>昨年度に引き続き、9回に渡り、ショッピングモールでの検診や企業とのコラボレーションなど、市町村単独では取り組みづらい事業に取り組んでいただいた。昨年度以上に多くの方に参加いただき、以前参加されたリピーターも見られることから、検診への意識が広まったと考える。若年層の受診率を課題に挙げている市町村もある中で、40代の方にも受けていただいた点や、今後受診対象となる30代に啓発できた点は、大きく評価できると思う。</p> <p>当課では、取組のひとつである「乳がん検診へ行こう絵画コンクール」の共催として、県のたより9月号の掲載や県ホームページでの告知、県内私立学校・公立高校への案内など、広報面での協力を行った。また、協定企業に協力いただき、昨年度の知事賞作品を使った啓発ポスターを作成するなど、県民に周知・啓発を行った。</p>
(2) 目標の達成状況	<p>ア) この事業の進捗は何%ぐらいですか。 (90%)</p> <p>※1年間で目標が達成できた場合に「100%」になることを基準に判断してください。</p> <p>イ) 上記ア) のように判断した理由を記入してください。</p> <p>事業の継続により検診の取組の輪を広げることができた。一方で、都市医師会の理解がないと新たな市町村での取組が難しいと聞いているところである。これまでの成果を整理し、多くの市町村等で導入できるよう、モデルを構築していく必要があると考えられるため。</p> <p>ウ) この事業の課題と対応策</p> <p>今後、より多くの自治体での実施の輪を広げていくことや、検診車のキャパシティの問題で難しいものの、1回あたりの参加者を増やすことができると望ましいと考えられる。</p>

(注) 個別事業が2つ以上ある場合は、上の表を複数枚提出して記入してください。

2 協働事業を継続する上での課題とその対応策

今年度で事業は終了。

3 負担金事業終了後の当該協働事業の見通し

本事業のような取組を続けていく場合には、市町村への呼びかけや県の持つ媒体を活用した広報などに引き続き協力していきたい。また、共催事業である「乳がん検診へ行こう絵画コンクール」についても同様に、より多くの県民に啓発できるよう取り組みたい。

4 協働事業の評価 (はい・いいえ・どちらともいえない、に該当するものを残してください)

1 協働事業の成果	
(1)	協働することで、単独で事業を行うよりも効果やメリットがありましたか。
(2)	事業の受益者の満足を得ることができたと思いますか。
(3)	(2)で「はい」を選んだ場合、受益者の満足度を調べるためにどのようなことをしたかを記入してください。

(4)	協働事業の成果だと思うことがあれば記入してください。	
2 協働事業の協議の状況		
<企画段階>		
(1)	事業計画や目標の立て方について、県と団体とは事前の調整や協議を十分行いましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
(2)	県と団体とは対等な立場で協議を行いましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
(3)	締結した協定書は事業を効果的に実施する上で適切でしたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
<実施段階>		
(1)	意思の疎通を円滑にし、事業の進捗状況を確認するため、県と団体とは節目ごとにメールや電話でのやりとりや定期的な協議を行いましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
(2)	県（団体）の置かれている状況や立場についての理解に努めましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
(3)	必要な情報を県（団体）と共有することができましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
(4)	協議についての課題を記入してください。 急に案件が決まるケースもあり難しい部分もあるが、早めにスケジュールを共有いただけないと県でも広報などの協力ができるのではないかと思う。	
3 協働事業の役割分担		
(1)	県（団体）との役割分担は適切でしたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
(2)	協働事業の実施にあたって、あらかじめ定められた役割を果たすことができましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
(3)	役割分担についての課題があると思われる場合は、記入してください。	
4 協働事業全体を通しての評価		
(1)	全体として、県と団体とは対等な立場で協働ができましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
(2)	この事業の課題を解決する上で、協働という手法は有効だと思いましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
(3)	協働事業全体を通じて気づいた点があれば記入してください。 新たな団体との協働など成果が出ており、こうした取組がより多くの市町村に広がっていくと良いと思う。本事業に参加いただくことで、市町村が実施するがん検診を定期的に受けただく意識づけにも繋げていけそうだと感じた。	
5 社会的認知の獲得		
(1)	取り組んでいる事業や成果について社会に知らせましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
(2)	(1)で「はい」を選んだ場合、具体的に何を行いどんな反応があったか（無かったのか）を記入してください。 共催で実施している「第5回乳がん検診へ行こう絵画コンクール」について、県HPや県のたよりに掲載しての告知、県内私立学校や高校への呼び掛け等、広報面での協力をすることにより、応募者数の増加に寄与した。	
(3)	今後に向けた課題を記入してください。 市町村がん検診の受診率の向上にも寄与できるなどのアピールができると、市町村や都市医師会の広報等への協力をいただけそうであるため、成果の共有や広報の効果的な手法等の検討が必要と考えられる。	
6 新たなネットワークの獲得		
(1)	この事業を実施する上で新たなネットワークをつくる（広げる）必要性がありましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
(2)	(1)で「はい」を選んだ場合、ネットワークをつくる（広げる）努力を団体と共にしましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
(3)	(2)で「はい」を選んだ場合、どんな努力をしたオンかを記入してください。	
(4)	(2)で「はい」を選んだ場合、ネットワークをつくる（広げる）ことができましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
(5)	(4)で「はい」を選んだ場合、具体的に関係（連携）ができた機関の名称を記入してください。 第一生命保険株式会社	
7 行政の施策等への影響		
(1)	協働事業の実施により、県職員のボランタリー団体等に対する認識や行政の施策等に影響を与えることができましたか。（協働部署にあっては、影響を与えられたかどうかを回答してください。）	はい・いいえ・どちらともいえない
(2)	(1)で「はい」を選んだ場合、具体的に変化や影響があったと思われることがあれば記入してください。	

8 費用対効果	
(1)	事業の効果から見て、要したコストは適切だと思いましたか。
(2)	(1)で「いいえ」を選んだ場合、その理由と、今後の対応策を記入してください。